

## ひなみ塾 提案の作文2023

皆さん、このたびはたくさんの提案を書いてくださって、ありがとうございます。学校は、学ぶ人のためのものです。皆さんにとって理想の学校になるよう、ボクやスタッフにできることはすぐに全力で実行します。これからも、いつでも、何でも、提案してください。楽しみに待っています。

ひなみ塾

塾長 黒川裕一（おやびん）

提案	おやびん（塾長）からの回答
イベント	
祭りをしてほしい。	イベントをやるからにはしっかりとやるのが大切です。そこでまずは、今あるイベントをもっと充実させます。やりたいことがあれば、今後いつでも、何でも、クラス担当スタッフにご提案ください。全て、スタッフミーティングで検討し、回答します。
おやびんの撮った映画を観る機会を増やしてほしい。	U-NEXTで20本の映画を観ることができるようになりました。今後数年は年15本ほど増えていく予定です。その後も年間6~7本撮り続け、それもすべて配信予定です。アクセスについては、ハンドアウトを用意しておりますので、スタッフまでお申し付けください。また、年に一度の「千年映画祭」では、最新作を毎年「みんなで観る」機会にしています。当日は、出演者の挨拶などもありますので、こちらへも是非ご参加ください。※2024年は7月27日（土）森都心プラザホールで開催します。
みやじ豚をまた食べたい。	おやびんの仲間の一人である宮治勇輔さんの生産する「みやじ豚」は、本当においしく、良質な食材であり、かつては「みやじ豚バーベキュー」をひなみでも行い、大人気でした。コロナの影響でしばらく飲食のイベントができませんでした。また開催できるよう検討します。「みやじ豚」のおいしさを覚えてくださって、ありがとうございます。
おやびん相談室をやしてほしい。	「大質問会」という形式で、こくさんクラスや国数クラスでは年に一度開催しております。また、個別のご相談があれば、講座後などの時間を捉えておやびんに申し出てください。三者面談などの機会を設けた方がよい場合は、担当スタッフにお申し付けください。
設備・環境	
荷物のかごがいっぱいで入らないときがあるので大きいかがほしい。	かごは予備も常備されていますので、ご自身で取れない場合はスタッフ・アドバイザーまでお申し付けください。必要な方は自由にお使いください。
映画の時のための更衣室が欲しい。	「更衣室」をつくれるだけのスペースは、塾内にはありません。そこで、カーテンやハンガーラックなどを活用した簡易の更衣室や、パーテーションの設置を検討させていただきます。
おやびんおすすめの本の置き場がほしい。	蔵書はこれからも増やします。楽しみにお待ちください。
エアコンの向きを変えてほしい。	暑い場合や寒い場合は、いつでもスタッフにお申し付けください。
扇風機を置いてほしい。	エアコンの冷気を部屋全体に行き渡らせる為に扇風機や、サーキュレーターを使うと効果的だといわれています。快適に学んでいただけるよう、これらの導入について検討いたします。
掃除のときに雑巾と一緒にほうきもした方がよいと思います。	ご提案ありがとうございます。講座後に掃き掃除をするクラス、拭き掃除をするクラスがあります。こくさんジュニア、こくさんの場合は講座前にスタッフがほうきと掃除機を使って清掃を行っております。落ちていたゴミに気づいたときには、全員が直ちに拾ってゴミ箱に捨てるようにしましょう。自分たちの学び舎は自分たちできれいにするのがひなみです。
ゴミ箱を大きくしてほしい。	ひなみ塾には現在300名近くの塾生が通っており、一人一人が自分ごみ捨てるとしてつもの量になってしまいます。そのため、飲食後に発生したごみなどは各自持ち帰っていただくようお願いしています。よって、ゴミ箱は現状のままの大きさにさせていただきます。
シャープペンを置いてほしい。	勉強は自分ですることですから、筆記具は原則として自分で持ってきてください。こちらが用意するのは、筆記具を忘れてしまった人たちのための、最小限のものだけです。
トイレに防音シートを張ってほしい。	防音シートについて、まずは業者に確認します。
バッグなどをかごに入れて足元に置けるとありがたい。	かごは常備されていますので、必要な方は自由にお使いください。
マットを新しくしてほしい。	マットの張替えはまとまった費用が掛かるため、毎年のように行うことは困難です。しかし、一定の期間が経過し、マットの劣化が顕著になった場合には、張替えを行います。それまでは、大掃除にて定期的にきれいにいたします。
空気清浄機を増やしてほしい。	空気清浄機は、教室の広さに対して十分な台数（2台）を設置しています。しかし、それでも空気が汚いと感じられる場合があるかもしれませんので、その際はスタッフにお申し付けください。予備がもう1台あるので、それを一時的に追加します。

ホワイトボードの上の方が光が反射して見えにくいので、改善してほしい。	蛍光灯の一部にアクリルボードの覆いをつけることによって、ホワイトボード前が暗くなりすぎず、同時に反射をできるだけ抑えるようにしてあります。実験を重ねた結果、これ以上覆いをつけると暗くなりすぎることが分かっています。ホワイトボードを次に買い替える際には、より反射率が低いものを選びます。
靴箱を大きくしてほしい。	玄関にとれるスペースが限られているので、靴箱も一番奥行き狭いものを設置しています。快適に使っていただけるよう、玄関周りの整理整頓もしていきます。出入りの際は、お互い譲り合って靴を出し入れするのも、コミュニケーションの勉強となります。よって、今のままでもお願いいたします。
椅子の表面が破けているものは取り換えてほしい。	備品費は毎年予算を計上し、必要な物から買い替えたり、買い揃えたりしています。テーブルとイスについては、安全管理の観点から、故障している物から順番に買い替えを行います。
<b>仕組み</b>	
アドバイザーになってみたい。	随時募集しています。ひなみ塾の基本方針は「自分から」ですので、アドバイザーにも自分から立候補してもらっています。立候補を楽しみにお待ちしております。
休憩時間が欲しい。	90分間休みなく集中し続けること自体が勉強であり、将来の土台となる習慣づけの一部です。よって、基本的には講座内に休憩時間を設けることはありません。
<b>こくさんジュニア</b>	
将棋の時間を増やしてほしい。	いつでも将棋ができるように準備しています。講座後に将棋を楽しむこともできるので、いつでもスタッフに声をかけてください。
みんなで料理をしたい（カレー、クレープ、デザートを作りたい）	小学校高学年を対象とする「こくごとさんすう」クラスでは、年に4回、料理を行っています。進級を楽しみにしててください。
新しいパズルを増やしてほしい。	新パズルの開発は常に行われています。発表を楽しみにお待ちしております。
バランスボール、一輪車、射的、国名覚え、竹馬、ながなわ、オセロ、相撲、なわとび大会、おにごっこ、カードゲーム、ロボット製作をしたい。	ご提案いただいたものは、全て、スペシャルで実施できないか検討します。他にもやりたいことがあったら、何でもご提案ください。
読書の時間を作ってほしい。	本校は「読み書き」を学習の基本に位置づけて重んじており、読書の習慣づけは大いに賛成です。講座内で読書の時間を設けるのは難しいですが、講座前や講座後は空いているスペースで自由に読書をして結構です。
将棋のトーナメント戦、紙飛行機、かけっこ、鉄棒、ねこたろうの回数を増やしてほしい。	年48回という限られたコマ数を最大限に活用して、楽しく全力で学ぶのがひなみです。限られた時間とコマ数の範囲内で、皆さんが楽しみにしているアクティビティの回数を増やせないか、検討いたします。
<b>こくさん</b>	
前に習った勉強の内容をプリントにまとめて配ってほしい。	勉強の説明が書いてあるプリントが、単元ごとに配布される「テキスト」です。テキストを読んでも分からないときや、授業を聞いても分からないときはメモを取る、質問するなど、自分にできることをまずはやってみてください。ひなみ塾の学習の指針である、「すぐ、自分から、全速力で、最後まで」の「すぐ、自分から」に当たります。
楽しい授業がほしい。	こくさんがもっと楽しくなるように、スタッフ一同、コンテンツの改善に日々取り組んでいます。具体的にどうしたらより楽しい授業になるか、ぜひご意見ください。楽しみにお待ちしております。
授業時間を2時間半にしてほしい。	前向きなご提案、とても嬉しいです。ひなみは全17コマがぎっしりとスケジュールされているため、1コマの授業時間をこれ以上のばすことは難しいですが、複数の講座を受講することはいつでもできますし、複数コマの受講者が多いのがひなみの特徴の一つです。興味のある講座があれば、まずは体験受講を推奨しております。いつでもお申し込みください。
作文を3枚にしてほしい。	前向きなご提案、とても嬉しいです。2枚目の最後まで書いていただいたら、それ以上は何枚でも自由に思いつく限り書いてください。歓迎いたします。
復習プリントの時間を少し伸ばしてほしい。	復習プリントの時間は15分(丸付けも含めて)から、問題数を減らし、解く時間を8分、丸付けを5分間の13分に変更しました。ご家庭での復習が完了していれば確実に間に合うように設計しております。また、講座開始前30分には開場しておりますので、どうしても時間が足りない場合には、早めに登校し、復習プリントに取り組んでください。
プリントを全問正解したら鉛筆が一本ほしい。	「勉強は自分のために自分でするものである」「勉強はそれ自体が楽しく、尊いものである」というのが本校の信念です。よって、「賞品」を提供することは一切ありません。ご理解ください。

ぶつかって手を痛めたから、それぞれの机の間隔を広くしてほしい。	ご迷惑をお掛けして申し訳ございません。こくさんの場合は、机の間隔をマット1.5枚で統一しております。それよりも狭くならない場合は、スタッフ・アドバイザーにお申し付けいただければ、直ちに対応いたします。教室の広さが限られているため、それより間隔を広くすることが難しいです。移動などの際には、どうぞお気をつけください。
スペシャルクラスをもっと増やしてほしい。トランプをしたい。	他のコンテンツとのバランスを考慮し、増やせないか検討いたします。
ひなみ塾のみんなで工作をしたい(絵、粘土)	他のコンテンツとのバランスを考慮し、図形の項目で導入できないか検討いたします。
ねこたろうをやりたい。	いつでもできるように準備しています。やり方が分からない場合などアドバイザー・スタッフに声をかけてください。
こくさんでパズルの迷路がしたい。	ひなみ塾のパズルは年齢や学習内容を考慮して、クラスごとに割り振っております。迷路パズルはこくさんジュニアクラスのコンテンツですので、こくさんジュニアでこれをコンプリートしていない場合に限り、家庭学習の習慣づけの一環として、「持ち帰りパズル」に含めることができます。
面白系アクション映画を撮りたい。	現在、ひなみでは長編映画を多数製作しており、2023年は7本を予定しています。また、「1」に代わって「3」というアクション映画の撮影を開始しました。まずはオーディションにご参加ください。申し込みは、クラス担当スタッフまで。
理科の実験をやってみたい。	こくさんの食育には理科の実験要素も含めて様々な学習内容が含まれています。また、年に1度夏休みの体験講座で理科の実験要素を含む体験講座を実施しております。やってみよう実験などがありましたら、いつでもご提案をお待ちしております。
食育をたくさんしたい。	他のコンテンツとのバランスから、現時点では、年に4回の食育講座が最適と考え、スケジュールを組んでいます。
こくさんジュニアでやったコンテンツ(飛行リングや紙飛行機、ルービックキューブ、かけっこ)やパズルをやりたい。	スペシャルで実施できないか検討します。他にもやりたいことがあったら、何でもご提案ください。
教室に本を置いてほしい。自由に勉強していい時間に息抜きにいいと思っているから。	読書の代わりにねこたろうパズルで息抜きをしようか。頭を働かせながら本を読む「アクティブリーディング」のスキルが身につくので、一石二鳥です。また、こくさんジュニアクラスでは全17種類のパズルを用意しています。ひなみ塾には学びに来る場所ですので、たとえば今までとは違うパズルに取り組むことによって息抜きをするなど、工夫してみてください。
5分シリーズを外でしたい(サッカー、ドッチボール、ボール遊び、リレー)	できる限り、そうしましょう。ただし、外に出れば、その分移動時間がかかります。また、安全管理も格段に大変になります。よって、「そうするだけの必然性」があるときだけ、言い換えれば「外に出なければ学べないことを学ぶ」というはっきりとした目的があるときだけ、外に出ることになります。具体的に外で何を学びたいか、いつでも提案してください。楽しみに待っています。
自転車をしたい。	自転車で公道を大人数で走ることは大変危険です。塾生の安全に配慮する必要があるため、講座に自転車運転を必要とするコンテンツを導入することはありません。保護者の同意が得られれば、通塾に自転車を検討してはいかがでしょうか。その際は、くれぐれも安全第一に運転し、JR新水前寺駅の駐輪場をご利用ください。
5分シリーズで色々な運動をしたい(走る以外も、すもう)	運動系コンテンツは総合学習の優れたコンテンツになり得ますので、増やすことが出来ないか検討します。
縄跳びをもっとしてほしい。	5分シリーズでは、できることが限られていますが、可能な限り時間を長くとりまします。
<b>国数</b>	
宿題で作文の回を増やしてほしい。	現在、月に一度宿題で作文に取り組んでいただいています。中学生には「文章の根拠と主張を見抜くこと」と「自分の知らない語彙や自分とは異なる考え方に触れること」を通してコミュニケーション力を高めることを優先してもらいたいため、現状のままとさせていただきます。
チャットGPTを使った授業を受けてみたい。	たしかに、チャットGPTをはじめとする生成系AIの活用は、今後「必須スキル」となる可能性が高いです。しかしながら、これらを最大限に活用するために必要なのは、実は「質問力」なのです。なぜなら、少なくとも現時点では、これらのAIは「聞かれたことに答える」装置だからです。ひなみでは小学校低学年のうちから質問力を毎週徹底的に鍛えています。これは生成系AIの活用においても有効です。
料理の回をもっと増やしてほしい。	他のコンテンツとのバランスから、現時点では、年に3回の食育講座が最適と考え、スケジュールを組んでいます。
中学生クラスでも下敷きを使いたい。	使用は自由ですので、必要な方はスタッフにお申し付けください。
数学の応用問題を増やしてほしい。	「勉強は量より質」というのが、おやびんの一貫した考えです。典型的な例題は基本テキスト内に網羅されています。応用問題は中学レベルをはるかに超えたものも含めて必要十分に取り揃えています。まずはこれらをすべてクリアしてください。相当な力がつきますよ。

運動をしたい。	運動は楽しいのみならず、とても重要な総合学習コンテンツであり、本校でも小学生クラスでは運動系のコンテンツを実施しています。中学生も、スペシャルコンテンツとして盛り込めないかどうか検討します。
英語基礎	
口頭の時間を長くしてほしい。	現時点で既にできる限り長くとるようにしていますし、今後ますますそのようにいたします。
映画だけでなく、英語の小説などを和訳してみたい。	小説の和訳は相当に高度で、高校生や大学生でも大半の者は全く歯が立ちません。ひなみでは英語Bクラスで、英語の本を訳する授業をやっています。非常にレベルが高いクラスですが、ぜひ体験受講をしてみてください。チャレンジを楽しみに待っています。
英語クラスでも料理をしてほしい。	国数における総合学習が料理、英語基礎における総合学習が映画を使った授業になります。ご理解いただければ幸いです。
映画で「ハリーポッター」をやりたい。	スペシャルで取り上げる映画は、皆さんからのアンケートを参考にするとともに、中学生が学ぶテキストとして最適のものを厳選しています。知っている映画を取り上げるのは良い点も多いですが、知らない映画の面白さを知っていただく機会にもなれば良いと考えています。取り上げてほしい映画があれば、クラス担当スタッフにいつでもお伝えください。
スペシャルで洋楽を使って学びたい。	英語Aクラスでは時々洋楽を使って学んでいます。洋楽の歌詞は「詩」なので、難易度が格段に上がります。よって、英語基礎基礎クラスでまずは土台を固め、英語Aに進んで、より高いレベルで楽しみながら学んでください。
英語A	
おやびんと英会話をする時間をつくってほしい（日本語禁止）	以前同様のリクエストがあり、授業に取り入れたことがありますが、90分という限られた講座の中では、5分～10分とるのが精一杯であり、それでは英会話の力をつけるのは難しく、今の授業形態に落ち着きました。まずは、自分たちで英語で会話する時間を作ってはいかがでしょうか。また国際交流会館などで、ネイティブの方と話すことも出来るかと思えます。なお、講座終了後におやびんと英語で話したい方はいつでも申し出てください。限られた時間にはなってしまいますが、喜んでお相手します。
映画ではなく「ドラマ」も教材として使ってほしい。	お勧めの「作品」がありましたら、ぜひリクエストをお願いします。すべて記録し、教材候補にさせていただきます。
洋楽も教材に使ってほしい。	以前も、洋楽を使って学んでいたことがあります。最近では、リクエストに応じ、スピーチを取り入れました。英語Aは映画の場面から生の英語を学ぶことを基本としておりますので、それ以外をテキストとするのは、一年に一度のペースが精一杯です。今後洋楽を取り入れることも検討しております。楽しみにお待ちしております。
英語Aでも食育をしてほしい。	英語Aは（英語Bも）、英語を学ぶためのクラスです。食育をコンテンツとして取り入れている「こくごとさんすう」「国語と数学」クラスでは、塾生の年代に応じた総合学習としてこれを活用しています。ご理解いただければ幸いです。
私にとっての英語Aの楽しさは汎用単語、熟語、仮定法の意味を考え、想像すること、〇〇さんの名翻訳です。おやびんがよく解説される“慣用的として使われる語句”の前か、後ろにこの語句が使われるときの簡易な文章がつけてあると話し言葉として親しみ、覚えやすさが出てくると思います。	おっしゃる通り、語句は文章（文脈）の中で初めて「意味」を持ちます。そこで、語句の導入の際には、原則として例文をつけるようにしております。ただし、口頭で説明しなければニュアンスが分かりにくいものが少なくありません。そこで、そのような場合には、口頭にて説明しております。
慣用語句と和訳を筆記する力（時間）がありません。前週のsummaryに和訳をつけていただくとありがたいのですが。	英語を理解する際、「和訳」は必要なく、むしろいかに日本語を介さずに英語を理解するかが英語上達のカギを握ります。言い換えれば、英語を英語のまま理解することが円滑にできるようになる前は、「補助具」として日本語を使う場合もあってよいということにすぎません。ですから、どうか「和訳」にこだわらず、すっきりした日本語にできなくてもよいので、（日本語の介在を最小限にして）英語を英語のまま理解するようにしてください。
オバマ大統領の演説は、who still ~, it' s the answer ~, it drew strength などのように同じ出だしのフレーズごとにまとめたいただいたほうが理解、記憶が容易になると思います。キング牧師の演説は、殆どがI have a dream that one day~で始まり、或いは終わるので学習しやすかった。	おっしゃる通り、同じ出だしのフレーズでまとめることができれば、学習のしやすさは向上すると思いますし、できる限りそのように努めております。しかしながら、講座内で使用するテキストには、1回あたりの語数に限りがあり、「きりの良いところ」でできることは限りません。ご理解いただければ幸いです。
英語B	
英語Bの解説記録（英語A同様の）も掲載していただけないでしょうか。	講義録を毎週アップしておりますので、そちらをご参照ください。
英語AとBの講義録を同じ形式にしていきたい。	英語Aクラスは感覚（センス）を、英語Bクラスは速度（スピード）を上げることをそれぞれ目的としています。講義録も、それに沿ってまとめてあります。形式の違いはその結果です。ご理解いただければ幸いです。

ときどきお菓子があると嬉しいです。	いただきものがあるときなどは、みんなでいただきましょう。ただし、終了時刻も遅いので、たまのご褒美として楽しむのにとどめるのがよいのではないのでしょうか。
<b>武道クラス「如水」</b>	
どうやったら力を入れずに一本いられるか知りたい。	丁寧に、全力で、毎日稽古しましょう。少なくとも、10年続けましょう。必ず、身体が変わります。そのための方法は毎週の講座で伝えますし、より効果的な方法へとどんどん更新していきます。
<b>ひなみ大学</b>	
グループ論議の結果発表は、いつも決まった人が行ないますが、時々はおやびんから指名されることを希望します。誰かがやるだろうという他者依存、或いは控えめな国民性を打破する人間力を育む良い機会かと思えます。今でも引っ込み思案の私の反省を踏まえての希望です。	「自ら学ぶ」という本校の理念から、出来る限り、指名は避けたいところです。グループでの話し合いの最後には、「残り1分」の表示があります。その時のメンバーで話し合って決めることと自体が、学びになるのではないのでしょうか。
<b>しごとの学校</b>	
修了生の方のお話を聞く機会が欲しい。日曜日は都合で来れない方が結構いらっしゃると思うので。	修了生も、その機会を待っているかもしれません。まずは、講座終了後などの時間を使って、「(実現に向けた)企画会議」を開き、アイデアを出し合いませんか。たとえば、年に一度は修了生と現受講生が一堂に会する機会を設けるなどしてもよいかもしれません。
しごとの学校のメンバーで何か一緒に作って食べる、喋るようなことがしたい。	ひなみは自発的な学びを歓迎します。塾スペースが空いていれば、自由に使うことができますので、どうぞご利用ください。「しごとの学校」ならではの楽しい企画をお待ちしております。
県外の方とオンラインで話をしたい。	上記同様です。まずは、自ら企画を立ち上げてください。全力でサポートいたします。
zoomで講座を録画してそれを1週間限定などで見るとありがたい。	おやびんは「講座はライブ(なまもの)である」、すなわち、「その時その場所に集った者だけが共有できる『(記録できない)何か』こそが、教育と学習の本質である」という信念に基づいて、すべての講座に取り組んでいます。よって、講座を記録することは一切ありません。ご理解いただければ幸いです。
おやびんの講義の後、そのまま復習をしたい。	教室が空いている場合は、どうぞそのまま残って復習会を。イベントなどで使えない場合は、移動して行ってもよいのではないのでしょうか。実際、英語クラスでは有志が集まって復習会をしています。